

聖霊降臨節第22週(宗教改革記念日) 主日礼拝

2017年10月29日 第一礼拝(午前8:00) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ルカの福音書』15章4-7節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌280「神はわがやぐら」	—	同
聖書朗読	『創世記』18章16-33節(旧約25頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「われ無力なれど」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌285「心くじけて」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	横堀 信子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山 勝三兄 会：小山 千春姉	映像・音響：片山 浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 掃除：小山 千春姉

説教メモ

1. 無力感は罪ではない。自らの無力さを痛感するからこそ、ただ神のことばにすがる。それがとりなしの力。
2. 国会喚問でのルターの言葉。「私はここに立つ。他にどうすることもできない。神よ助けたまえ。アーメン」
3. アブラハムは残り十人でとりなしを終えた。だがイエスはただ一人のために十字架で身代わりとなった。

先週の暗唱聖句

「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前を歩み、全き者であれ」 (『創世記』17章1節)

今週の暗唱聖句

「何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です」 (『ヨハネの手紙 第一』5章14節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2017年10月29日

新潟福音放送協力会よりニュースレターNo. 238/
アブラハムのしもべ会より9月会議の議事録および会議の案内[11月6日(月)五十嵐教会にて]/
「星野富弘美術館を囲む会」より領収書/佐藤真由美さん(真璃)よりハガキ

先週の集会出席者数

10/22(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女3	※月に一回、実用書道教室を開催	
	第二礼拝	男10 女18 計28	10/23(月)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児2 女児4	10/25(水)	阿賀野祈禱会 男5 女6
	夕拝	※都合により休会	10/27(金)	しゃべり場タビタ 男- 女3
			10/27(金)	金曜祈禱会 男- 女5(求1)

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
10/30(月)午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
11/1(水)午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司会：横堀 信子姉
11/2(木)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
11/3(金・祝)	金曜祈禱会		

11/5(日) 聖霊降臨節第23週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：担当役員 配餐：担当役員
教会学校 聖餐礼拝 午後10:30	担当：片山 初子姉 司会：近伸之牧師 集会：笹川 清子姉	映像・音響：片山 浩司兄	感謝祈禱：猪爪 和美姉 掃除：笹川 清子姉

礼拝について	『創世記』19章1-29節		
主日の予定	C S 教師会 役員会	愛餐会後 会計終了後	教会堂 母子室
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教		

報告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。本日午後3:00より亀田キリスト教会において「ケアボックスをつくる会」が行われます。また、夜は新潟福音教会において学園デーのスペシャルナイトが開催されます。掲示してある案内をご覧ください。
2. 「星野富弘詩画展 in しばた」会場ボランティア募集
今週末から行われる詩画展のボランティアが不足しているようです。協力できる方はお申し出ください。
3. 個人消息
片山初子姉のお父さま、相田富治さんが、10月22日未明に逝去されました。お母さまのハルミさん初め、ご遺族の慰めを祈りましょう。
4. 牧師の予定
明日 茨城県神栖(個人宅)にて教団の退職金委員会に出席
31日(火) 新潟聖書学院にて教職者を対象とした「新改訳2017講演会」に出席
本日午後から上京し、31日(火)に帰宅予定です。お祈りください。

『世の光』のリスナーから、「お話の中によく、『心を開く』という言葉が使われますが、具体的にはどういう意味ですか?」という質問を頂きました。確かに、「心を開いて神を信じる」とか、「心を開いてキリストをお迎える」というように使います。

一般に「心を開く」ということは、どんな意味で使われるのでしょうか。人に対して心を開くというのは、その人の言うことを信じるというような意味でしょうか。逆に、心を閉ざすというと、その人を信用しない。受け入れない。拒むというような意味になるのでしょうか。

聖書の中には、数回この言葉が出てきます。例えば、旧約聖書の『ヨブ記』17章4節にはこうあります。「あなたが彼らの心を開いて悟ることがないようにされた」。

つまり、心を閉じるとは、知ろう、理解しようとする努力をしない。ゆえに悟らないということです。キリストが復活して後、最後に弟子たちに言われたことばのひとつに、こうあります。

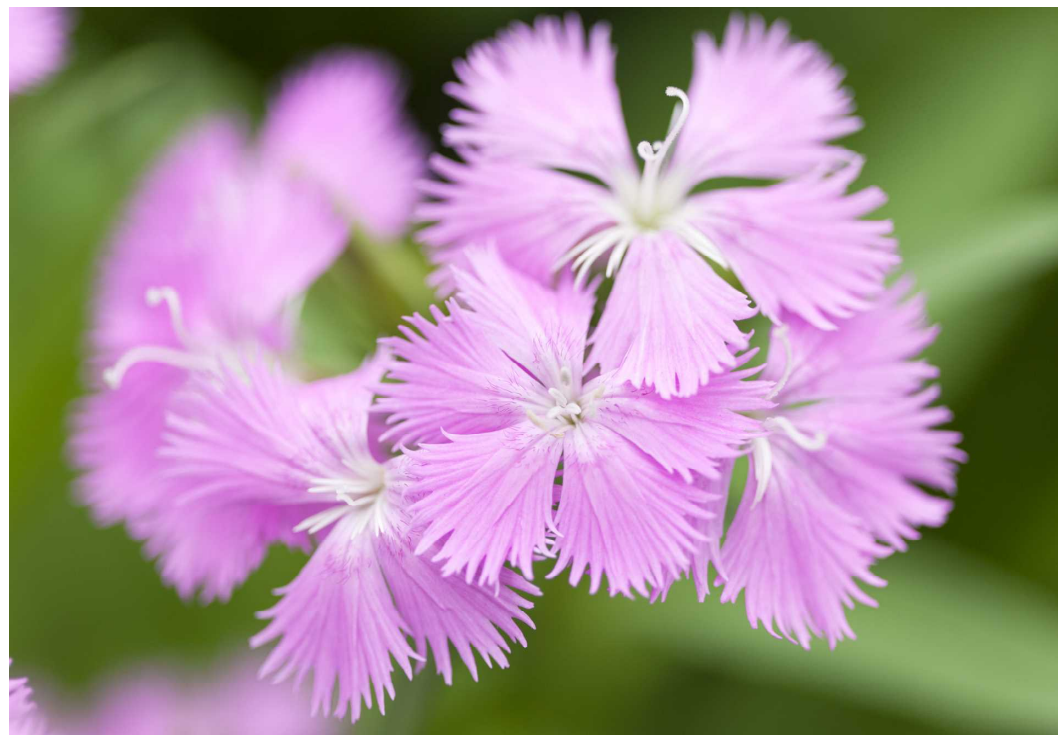
「そこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた。『次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる……』」(『ルカの福音書』24章45～47節)。この聖書のことばは、キリストについて悟るための理解力のことを言っているわけです。

キリストの弟子パウロが、ピリピの町で福音を伝えたときに、最初に信仰を持った婦人については、こう書かれています。「主は彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた」(『使徒の働き』16章14節)。彼女はパウロの語ったキリストのことを理解したということです。

「心を開く」とは、神について、キリストについて、またそのことを記した聖書について、理解できるようになるということです。そして聖書では、神やキリストが「心を開く」とあります。つまり、神を知り、悟るのは、神が理解力を与えて初めて実現することなのです。


聖書の最後にある『ヨハネの黙示録』3章20節には、キリストが「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって…」とあります。

ラジオ番組を通して、聖書のことばを通して、キリストは私たちの心の戸をたたくように語りかけています。それを聞いて心の戸を開けて迎えるとき、キリストと一緒に生活が始まるのです。まずは「理解力、悟りを与えようとしているキリストを信じる」と口で言うことです。



撫子やそのかしこきに美しき 惟然 (1648-1711)

ナデシコ (川原撫子、大和撫子) は秋の七草の一つ。日当たりの良い草原や川原に生える。高さは30～80センチ、茎の上部で分枝し、その先に淡紅色の花をたくさんつける。そのたたくまいから、日本女性の清楚な美しさを指す言葉にもなった。

 ライフ・ライン 毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



11/4(土)ライフ・ラインのつどい in 群馬 「イエスとの絆を結ぶ」羽鳥頼和牧師

この10月に群馬県前橋市で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、ラジオ番組「世の光」でおなじみの羽鳥頼和牧師が「イエスとの絆を結ぶ」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

